

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあられる時津小



↑こちらからも↑

令和5年 9月22日（金） 発行人：校長 森内 秀学

時津小 秋のトピック



諫早少年自然の家で宿泊学習

9月19日、20日は、5年生の宿泊学習でした。ちょうど雨の合間の2日間でしたので、自然の中のオリエンテーリングやナイトハイク、野外炊飯など、計

画どおりの活動ができました。帰ってきた子どもたちの表情は、疲れた中にも充実感が感じられました。あと半年で6年生。今回の経験が、大いに生きることを願います。

昼休みは、虫捕りに夢中！

子どもたちは今、虫捕りに夢中です。人気の虫はコオロギですが、流行っている遊びは、小さなチョウを素手で捕まえる遊び。友達同士で、捕まえては逃がし、動体視力と運動神経を競い合っています。ICTを使いこなせる姿も立派ですが、こうして生き物とふれあう姿こそ、子どもらしさを感じてしまいますね。



赤いコーンは悲しいお知らせ

最近毎日、運動場の真ん中には、暑さ指数計を先っぽに取り付けた赤いコーンが立っています。これは、「暑さ指数が基準値を超えているから、天気が良くても、外へ出て激しい運動を해서는いけないよ」という悲しいお知らせです。涼しくなるのはいつかな？

物の生産と地域とのつながり～3年総合的な学習～

太鼓の音とともに出てきたインディアンが「頭痛い 歯痛い 熱ある」とつぶやく、あの有名な頭痛薬のCM。その会社の本社が時津の久留里にあることはご存知でしょうか。9月21日の5時間目は、その社員である平坂様が、3年生の総合的な学習の講師として来てくださいました。ねらいは、物の生産と地域とのつながり。最近は、健康食品として、時津の特産になりつつあるキクラゲを利用した商品も開発しているそうです。地域と結びついた企業の取組は、子どもが時津を誇りに思う気持ちにつながりますね。

